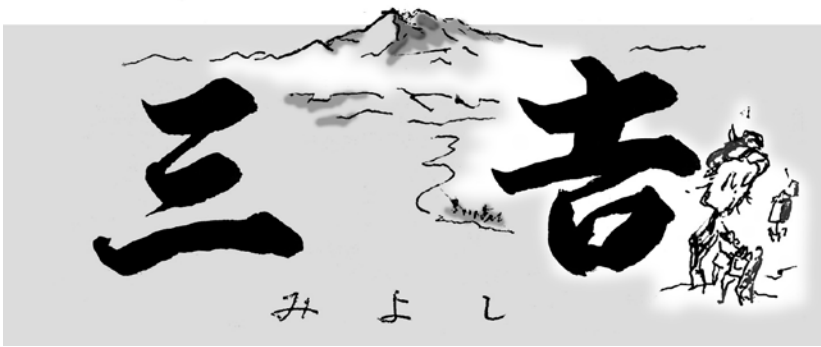




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

平成30年三吉梵天祭

年始特殊神事日程表

一月 十七日(木) 午前六時 梵天祭
 一月二十七日(日) 午前十時 どんと祭

昭和も遠くなりにつけり。御代替わりを前に、そんな感慨を持つている方も多いに違いない。平成も残り僅かとなった。▽この三十年で最も変貌したものの一つが情報通信分野だろう。一家に一台だった電話は、今や家族一人ひとりが持つのが当たり前となり、インターネット・メール・SNS・、スマホやパソコンからは、いつでも様々な情報を取得・発信できるようになった。情報の地域格差は格段に小さくなり、今さらながら技術革新による恩恵の大きさを感じている。▽と同時に、例えばデジタル化が進んでも、大切なことは時代を越えて共通していることもまた事実。コミュニケーションを図る上での最低限のマナーや気配り、溢れる情報の中から大事なものを取捨選択する力、危険なものを察知し回避する能力・。技術はあくまでも手段であり、根源的に問われるのは、いつの時代もその人の人間性なり経験や知恵といったもの。▽奇しくも今年は明治維新から百五十年に当たる。物は無くとも気骨に溢れ、自立心旺盛な明治時代の人々に現代はどう映るだろうか。便利さに胡坐をかいて、本質的な部分を疎かにすることがないよう十分に気をつけたい。

宮司 田村 泰教

地元シリーズ⑤8

梵天祭と太平山―信仰のまにまに

奥羽住宅産業株式会社 代表取締役 中村 瑞樹



先般宮司 いえ、当社のメインバンクである様より、社報【みよし】に寄稿頂けなかったと記憶しております。関係ないかとの者、皆様から叱咤に叱咤の上、回吉神社様のご利益に預かっている者一人として、お断りなどした日にはご利益を頂けなくなるのでは無いかと思ひ、諸先輩方が居られるにも係らずお引き受けさせて頂いた次第であります。乱筆乱文に成ってしまうと思いますがどうか寛容な神意でご容赦下さいませ。

元談はさておき、弊社（奥羽住宅産業株式会社）は来年で30周年を迎えますが、梵天参加はその半分の15回目の参加となります。が、梵天ではまだまだ新参者と言えます。最初の頃は地元の町内会の方々のご協力を頂いて行ったとは



奥羽住宅梵天奉納

ず、奉納を辞めてしまった町内も多く有るようです。どうかして辞めてしまった町内に復活して頂き、昔のように山門の鳥居前で上町下町ぶつかり合つて奉納出来る日が来ることを夢見て、平成最後の梵天に参加する私です。

また弊社の10周年記念事業として始めた社内登山が来年の6月に20回目となるのですが、そのうち太平山登山は10回目となります。最初は奥羽山脈制覇とか言いながら始めたのですが、一度太平山に登ったらご利益が多くてビックリ。それ以降は毎年太平山と決め、山頂でのご祈禱も恒例となっており、一口に太平山登山と言っても、結構きつい山です。昔からの山岳信仰の想いが理解できる山でもあります。

さてこの通り数字も10・15・20・30とゴロが良い数字が並び続けるほど、霊験あらたかな太平山三吉神社であります。私はこれからも大変な時は事あるごとに神頼みに伺いますが、その前にシッカリご奉公することも必要なのかもしれないと感じております。

体力の続く限り太平山登山も梵天祭も全力投球で信仰させて頂き、大きなご利益を拝受し続けていきたいと思つて居るのは私だけではないと思ひます。かわるすべての人々の力を合わせ、神社行事を盛り上げ



平成30年奥宮登拝

言挙げ 67

冬の季節を迎えて

権禰宜 佐々木 佳 祐

今年も早いもので、触れてみようかと思ひました。

年末の時期 きて、俳句は十七音で出来て迎えるので世界最短の定型詩とも呼ばれています。他に挙げられ

ます。太平山の木々もその色鮮る特徴としては、1ヶ所必ず「切やかな紅葉を落とし、冬の様相れ」をいなければいけません。

を見せております。季節の移りその字の通り流れを切ることに変わりを目で、肌ではつきりとより余韻を生むわけなのですが、

感じ取れる今日この頃ですので、「けり」や「かな」、「や」などとし今回は俳句について簡単に紹介という助詞を使っても表すことが

したいと思ひます。なぜ俳句かできます。その他にも、二重季といひますと、皆さんご存知か語や字余り、字足らずなどあり

もしれませんが、俳句には五・ますが、その限られた中で、詠七・五の十七音で構成する他に基み手は伝えたいことをいろいろ

本として季語を入れる決まりがな言葉に置き換えながら表現しあります。季語とは、春夏秋冬なければいけません。

という四季をあらわすために詠 例えは出先や旅先で見たもの、み込む言葉ですので、季節を語 ふと感じたことをメモ帳片手に

の上ではピッタリです。また、書き留める。それを自宅に帰ってどの言葉がいいだろうか、何

か別の言葉はないかと推敲する。十七字という短い詩の分、手軽に出来ますがとても奥が深く考えるのが楽しいと思ひます。

雪が降り寒くなれば室内にいる時間が増えると思ひますが、日々の生活でふと感じた事などを書き留めて、俳句を詠んでみるのはいかがでしょうか。

本年は、太平山と秋田市で初雪が同時に見られましたので、拙作ながら最後に一句。

初雪に太平山も染まりけり
それでは皆さん風邪などひかぬようにご自愛くださいませ。



今年の初冠雪

全国神社総代会
記念表彰

全国神社総代会設立六十周年にあたり、当神社からは左記の方々が表彰をお受けになりました。

永年のご尽力に衷心より感謝の意を表します。

◎神社の復興又は興隆に力をいたした功労者

(責任役員) 進藤金一様

◎永年在職の功労者

(責任役員)

石井良三様・鈴木英弘様

(総代役員)

進藤義雄様・加賀谷和子様・

佐々木栄二様・川邊俱康様・

大井光弘様・若月春吉様

(順不同)

梵天祭がダイドードリンコ様の
「日本の祭り」に選定

日本古来の文化伝承を支援されております、ダイドードリンコ様の明年の「日本の祭り」に当社の梵天祭が選ばれました。秋田テレビ様の開局五十周年の記念とあわせて番組が制作されBS放送で放映される予定でございます。

● みよしスケッチ ●



多数のご参列を頂き、晴天のもと厳かに斎行いたしました。

秋季例大祭 十月十六日・十七日



永沢梅子氏（秋田市）が優勝されました。

第十六回三吉節全国大会 九月十七日



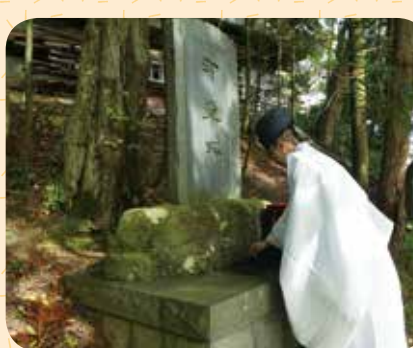
本年も多くの方の神人奉仕により、御神体を奥宮より里宮に遷御いたしました。

閉山祭 九月十七日



親しんだ人形に感謝し、お焚き上げ神事を行いました。

人形感謝祭 十月二日



古い印鑑や表札を祓い、印章塚にお納めしました。

印章供養祭 十月一日



手形幼稚園の園児をご招待いたしました。

園児お茶会 九月四日



みよしスケッチ

鹿児島縣護國神社様 十月十日

遙々ご遠方から正式参拝を頂きました。



大麻・磨頒布始祭 十月十五日

本年は秋田県神社庁中央支部と合同で斎行いたしました。



七五三詣

お参りのお子さんで境内にぎわいました。



歩こう会 十月十三日

正應寺・石動神社等を見てまわり、約八キロを歩きました。



梵天打合せ会 十一月十八日

明年の三吉梵天祭について打合せを行いました。



村梵天代表者懇談会 十一月一日

明年の村梵天奉納について話し合いを行いました。



自衛警備隊総会 十一月十日

新年の梵天祭の作業について打合せを行いました。



厄年・年祝いのご案内

厄年のお祓いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

平成31年(己亥) 厄年・年祝い一覧

生まれた年	え と	男 性	女 性	年齢(かぞえ)
大正10年生	酉(とり)	白 寿(はくじゅ)		99歳
昭和5年生	午(うま)	卒 寿(そつじゅ)		90歳
昭和7年生	申(さる)	米 寿(べいじゅ)		88歳
昭和15年生	辰(たつ)	傘 寿(さんじゅ)		80歳
昭和18年生	未(ひつじ)	喜 寿(きじゅ)		77歳
昭和25年生	寅(とら)	古 稀(こ き)		70歳
昭和33年生	戌(いぬ)	後 厄		62歳
昭和34年生	亥(いのしし)	還 暦(かんれき 大厄)		61歳
昭和35年生	子(ねずみ)	前 厄		60歳
昭和52年生	巳(へび)	後 厄		43歳
昭和53年生	午(うま)	大 厄	厄	42歳
昭和54年生	未(ひつじ)	前 厄		41歳
昭和57年生	戌(いぬ)		後 厄	38歳
昭和58年生	亥(いのしし)	厄	大 厄	37歳
昭和59年生	子(ねずみ)		前 厄	36歳
昭和61年生	寅(とら)		後 厄	34歳
昭和62年生	卯(うさぎ)	厄	大 厄	33歳
昭和63年生	辰(たつ)		前 厄	32歳
平成6年生	戌(いぬ)	後 厄		26歳
平成7年生	亥(いのしし)	大 厄	厄	25歳
平成8年生	子(ねずみ)	前 厄		24歳
平成11年生	卯(うさぎ)	成 人		満20歳
平成12年生	辰(たつ)		後 厄	20歳
平成13年生	巳(へび)	厄	大 厄	19歳
平成14年生	午(うま)		前 厄	18歳
平成19年生	亥(いのしし)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず
新年を迎えると一つ年をとります。



どんど祭

1月27日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、或いは古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合のつかない方は、予め所定の位置にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

○人形類は10月の人形感謝祭にお持ち下さい。

○環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

平成31年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(火)	午前零時	歳旦祭	国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(木)	神事 午前6時 奉納 午前10時半～正午	梵天祭	力の神である《三吉霊神》にあやかろうと威勢良く先陣を争い梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事(8頁参照)
1月27日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札、お守、縁起物などをお焚上げいたします(6頁参照)
2月3日(日)	午前10時	節分祭	季節の変わり目を迎えるにあたり、福豆をまき供え、除災招福を祈ります
2月11日(月)	午前9時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、日本の繁栄と世界平和を祈念いたします
5月7日(火)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡や家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(月)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(日)	午後3時	夏越の大祓	上半期の最後の日に、自分の罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを、形代(かたしろ)に託して祓い清め、心身ともに清々しく新年を迎えるための節目の神事でございます。
多事多忙とは存じますが、是非ご参列下さいますようご案内申し上げます。

記

一、日時 十二月三十一日(月) 午後二時
一、於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。

※形代(かたしろ)は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。



秋田市赤沼

平成31年

平成3年
1月
17日(木曜)

◎神事…午前6時、
◎奉納時間…午前10時半、正午

三吉

博王

祭

人に押し負け大きらい

ぼんでん

ぼんでん

人に押し負け大きらい

嚴寒の月、鹿田の静寂を打ち破つて、
秋田岡田秋田の行事にも揺かへたり。
秋田の冬の風物詩、ほんといふがけつゝある。
力の神・勝負の神を祀る太平安山吉神社の
例祭に奉納する梵天は七十センチ、
意匠をこらした梵天は、數十人の男たちを促え、
囃の町を練つた後、神社には奉納する。
「八に押し負け大きらい」と三箇所も悪からに、
法難貝とジョウヤの掛け高が
男ましく輝く女が、万をさす観衆の前へ、
十余りの梵天が踊り乱れ、
男たちは波となつて泣くしくも文やう。
年の幸を願うい祭は、今年も一足早い春を呼ぶ。

村梵天奉納町内のご紹介⑥



日曜例をしています。秋田の伝統文化の継承を図るため、又当町内会は、関所のお役も頂戴しており、企業・梵天・村替り、大のお世話もさせて頂いております。一人は押し負けず、『ジョヤサ』

私達は、蛇野・西町・大沢の3地区の共同で梵天を奉納させて頂いております。

当団体も、他村梵天に例へなく担い手の高齢化が進み毎年奉納者の人員確保に、苦慮しているところです。

三年程前から、担い手の若返りを図るべく活動を開始し、発起人及び長老から神事の在り方、心構え等を指導頂き、又町内の若手への積極的な声掛けにより人

村梵天奉納町内のご紹介⑤



「ジョヤサー、ジョヤサー」と力強い掛け声で、甲斐を込め奉納致します。

櫻梵天有志は、地域の皆様と企業様の「安全」「繁栄」の思いを込め、奉納しております。

櫻梵天の奉納は、日の出前の早朝に、地元のお宮へ集まり、無事奉納することを祈願してから始めます。その後、出発する際は、大平川に架かる木鼻

ACCESS



太平山三吉神社総本宮

秋田県秋田市広面字赤沼3-2 ☎018-834-3443 <http://www.miyoshi.or.jp>